発行所
伊那市荒井
3500-1-401
上伊那教育会館内
長野県教職員組合
上伊那支部
編集発行人
田中　達也

上伊那支部情報

令和６年
５月 22 日
第４号
職場掲示

支部ホームページ　上伊那支部　検索

～第80回上伊那支部定期大会開催～

５月 10 日（金）に伊那文化会館にて第 80 回上伊那支部定期大会が行われました。今年度の運動方針を決定するにあたり、多くの先生方からご意見、応援の声をいただきました。すべての子どもたちと教職員の幸せのため、今年度の活動を邁進して参ります。

ご発言いただいた意見【要約】

・平和を求めるという思いで、協同し行動することで大きな広がりを作り出し、平和への活動を強く推し進めて欲しい。
・その時々の教育を巡る問題を明らかにし、子どもたちの豊かな教育を願い、わたしたちの権利もある働きがいのある職場づくりのためにこれまでも組合活動を行われてきている。組合員減少傾向にはあるが、教育が危機にさらされたとき、なにか不利益を被りそうになったときに守ってくれるのは組合である。組織のさらなる発展を願っている。
・教研Ⅱを平日に行うことはできないのか。組合が中心になって行っているから休日開催だと言うことだとは思うが、四者共催でやっているということからも夏休みの平日等に行ったほうがより参加しやすいと思う。
・業務改善について引き続き進めていただきたい。校務分掌や行事の精選、削減を考えてはいるが業務の負担減まではいかない。市町村の教科支援や教員業務支援員の先生を配置していただき助かっている。中学校では部活動の指導に負担を感じる。部活動の地域移行が話に出てしばらく経つがなかなか進んでいない。これからも適切な業務の割り振り等含めて組合として求めていって欲しい。
・組合を通して人と人とのつながりを感じて来ることができた。
・活動を通して培われる人と人とのつながり、これまでに勝ち取ってきた権利を守っていくこと、より良い学校生活を実現していくために声を上げ続けることが必要である。組合員を増やしていく取り組みを進めていきたい。
・組合活動も給食当番と同じように、みんながみんなのために、みんなの幸せのために役割を果たすということである。一生懸命に取り組むことを生徒に伝えている。みんなの声を国や県に届けて行くために、仲間の輪を広げ、みんなが力を合わせる組合活動にしなければならない。

会の運営にあたって、多くの先生方にご尽力いただきました。ありがとうございました。

支部定期大会のお礼

県教組上伊那支部執行委員長　小田切　亮

組合員の皆様の力強いお支えをいただき、５年ぶりに伊那文化会館大ホールで県教組上伊那支部定期大会を行うことができました。組合員数 738 名のところ、365 名もの方に直接会場まで足を運んでいただきました。また、委任状を含め 653 名もの方にご参加いただきました。上伊那の「つながり」の強さを改めて感じる会になりました。それぞれの職場で定刻開会の呼びかけや出席者の集約などにご苦労いただいた職場長や評議員の皆様、大会役員を引き受けていただいた皆様、大会に関わっていただきました全ての皆様に心より感謝申し上げます。

大会の中では、活発な討議が行われ 2024 年度の活動方針が決定しました。これからも組合員の皆様の声に寄り添い、今年度スローガン「ALL FOR ALL～みんなはみんなのために」を大事しながら、精一杯支部の活動をすすめてまいりたいと思います。引き続きご支援ご協力どうぞよろしくお願いいたします。